

徳島市方上小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

考え、表現する場を大切に授業づくり
～教職員全員によるポジティブな行動支援を軸として～

【小中連携における共通の取組】

学習のめあての提示・学習の振り返りを徹底し、授業改善に努める。

【各校の取組状況の把握について】

具体的な数値目標を設定し、学期毎に取組状況を点検する。

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題には取り組むことができる。 ●基礎的・基本的な知識・技能の定着が十分にできていない児童が多い。	・漢字の読み書きや計算プリント、タブレットでの繰り返し学習をしたり、継続的に読書をしたりすることができる。 ・身に付けた個別の技能について自ら考え、他の学習や生活の場面において活用することができる。 ・自分の考えを、授業の中で発表することができる。	・朝の活動でタブレットなどを活用し、学年にとらわれず振り返り、自主的に課題に取り組むことができるようにする。 ・既習の知識を生かすことができる教材や発問の工夫をしたり、場面を設定したりする。 ・児童ができていることを褒めて、自信をもって発表できる雰囲気作りをする。	・自分の課題に対して主体的に解決することができていないため、短時間でも苦手なことを克服できる時間を設定する。(朝活や授業の隙間時間など) ・授業後の振り返りをしたり、視覚的な支援で発表の仕方を示したりして、自信を持って発表できるようにする。	・タブレットを活用した学習はできてはいるが、自主的に課題に取り組んだり、授業後の振り返りをしたりすることが徹底できていない。学力が十分についていない児童に対して、教員が教材の工夫等をできるだけしていく必要がある。 ・視覚的な支援や児童へのポジティブな声かけを心がけたので、今後も継続していく。	・タブレット端末等を活用し、自分の課題に対して自主的に取り組むことができるように授業展開を工夫する。 ・多様な意見を受け入れることができるクラスの雰囲気作りをして、誰でもが自信をもって発表できるようにする。

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題解決の際に、自分の考えをもち、考えを言葉で発表することができる児童がいる。 ●自分の言葉で発表することが苦手な児童や、考えをもっている、自分の意見に自信がもてず、考えを伝えられない児童がいる。	・友達の意見をしっかりと聞き、自分の意見との違いに気付いたり、参考にしたりすることができる。 ・自分の考えをまとめたり、整理したりすることができる。 ・身に付けた知識・技能を生かして自分の考えをまとめて、表現することができる。	・ペアやグループで意見を交流してから発表することで自分の考えに自信をもてるようにする。 ・聞き方ナビ、話し方ナビ、発表ナビを作成し、自分の考えを伝えられるようにする。また、友達の意見を聞くことができるように支援する。 ・目的や伝えたい内容に合った関連する既習内容を提示する。	・ペアやグループ内でも、意見を言えない児童がいたので、自分の考えをノートやタブレットに書けるようにする。 ・教師の問いかけを工夫し、児童の思考を促す。 ・教科横断的な学習を推進する。 ・作成された聞き方ナビ、話し方ナビ、発表ナビを活用する。	・聞き方ナビ、話し方ナビ、発表ナビを作成し、児童の見える場所へ掲示した。 ・聞き方は不十分である。 ・友達の意見と比べて、違いに気づき、自分の考えを伝えることができる児童が増えた。 ・教科横断的な学習の推進では、教師が意識して指導することで効果が見られた。	・引き続き、聞き方、話し方、発表の仕方の指導を行う。 ・お互いの意見を、伝え合う機会を増やす。 ・児童の興味関心に応じた単元の設定、課題提示の仕方を工夫する。 ・読書活動を推進する。

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各授業の学習に一生懸命取り組むことができる。家庭学習にも主体的に取り組むことができる。 ●自分で計画を立てて進んで学習に取り組むことや、自分の考えをまとめたり、発表したりすることに課題がある。	・学ぶ楽しさ、喜びを前向きに受け止め、各教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・自分の学習状況をしっかりと振り返り、自らの課題を解決できるように計画を立て、実践することができる。 ・家庭学習に主体的に取り組むことができる。	・毎時間のめあてを明確にし、振り返りを行う。 ・ワークシートやタブレットなどを活用し、児童の思考の過程や学習の振り返りが残るようにする。 ・自分で計画を立て、課題に主体的に取り組む学習を積極的に行う。 ・家庭学習の目的や方法を具体的に指導し、計画を立てさせ、目標を達成できているか振り返りをさせる。	・ペアやグループで友達の意見を参考にしながら、まとめたり発表したりする機会を増やす。 ・振り返りを残すだけでなく、振り返りを次時の学習に活用していく。 ・自分の考えに自信をもち、進んで学習できるように、自分の課題をペアやグループで共有し、練る活動を取り入れる。 ・自主学習では、家庭学習の参考となる友達のノートを学級で紹介し、進んで取り組む意欲を高められるようにする。	・ペアやグループで友達の意見を参考にしながら、授業の中で、自分の考えをまとめたり発表したりする児童が増えた。 ・ワークシートやタブレットなどを活用し、児童の思考の過程や学習の振り返りが残るようにすることができた。自らの課題を解決できるように計画を立てることはできた。 ・家庭学習には主体的に取り組むことができた児童が増えた。	・各教科等の学習では、自分の学習状況を振り返り、目標をしっかり持って、立てた計画に、主体的に取り組むことができるようにする。 ・自主学習については、定期的に振り返りを行い、自分の課題に気づき、課題解決的な学習に自主的に取り組むことができる児童を増やす。